

### 仕事に関すること

**Q1 施設での勤務は担当制で利用者の支援を行うと聞いたのですが、新採用で入職した際に担当する利用者は何人くらいですか？**

利用している方の障がい支援区分や入所定員、また児童や救護施設といった施設の種類などによっても異なりますが、2~3人を担当する施設や、4~5人を担当する施設があります。担当制といっても、基本はチームでの支援になります。利用者の思いをくみ取りながら、必要な支援は何か、多職種とも連携しながら、支援を展開していきます。

新採用職員の皆さんには、指導リーダーを一定期間配置し、丁寧に段階を踏んで指導するなど、安心して働ける体制となっております。

### 異動に関すること

**Q2 異動はどのくらいのペースでありますか？**

定期人事異動は4月1日に行われ、異動のサイクルは概ね3~5年ですが、施設や本人の事情により、これによらない場合があります。

職員は、毎年、「身上調書」に、家庭の事情、業務の取組状況、将来の希望、異動希望等を記入し、所属長と面談を行います。面談を踏まえて、事業団全体で職員の希望や組織バランスを考慮しながら総合的に判断し、異動を調整し決定します。

**Q3 内定を受けた場合、職種や配属先について希望は出せますか？**

福祉職は面接試験の際に、法人でどのような働き方をしたいか、確認等をしています。採用時の配属先は、法人全体の職員動向を踏まえて決めることとなりますので、必ずしも希望どおりの配属にならない場合があります。

**Q4 相談支援に興味があります。希望すればどのくらいで相談支援業務に就けるでしょうか。**

配属については、Q2、Q3に記載したとおりとなります。個々に違いはありますが、今までのキャリア例では、5年程度入所施設や通所施設で現場経験をされたあと、相談支援を担う職員が多いです。障がい児・者の支援を行う相談支援専門員は5年以上の実務経験が必要なためです。相談支援業務は支援を必要としている本人や家族の相談に応じ、自立に向けてサポートする重要な役割を担っている職種であり、様々なニーズに対応するための知識や実践力が求められます。入職時、別な配属先になったとしても、多くの現場経験が将来の実践に活かされていくと考えています。将来のキャリアステージに向けて、今必要な知識、実践力を磨いていっていただきたいと思います。

### 先輩職員への質問

**Q5 新しい環境に対して不安を感じますが、異動について不安がありませんでしたか？**

・私は、まだ異動は経験していませんが、異動については経験を増やせるチャンスだと感じています。実際に別の施設から異動してきた職員と接すると、違う視点を持っていたり、学ぶことが多いです。経験を積むことは成長につながると思います。

・異動について、入職時は不安が大きかったのですが、入職してからは上司や周りの先輩職員からフォローしてもらい、仕事のできるが増えたり生活に慣れてきたことで、不安はあまりなくなりました。まだ異動の経験はありませんが、他の施設でも働いて経験を積んでみたい、という気持ちもだんだん出てきました。

**Q6 利用者の方や他の職員と接する際に気をつけていること(大切にしていること)はなんですか？**

- ・重度の障害児・者施設では自分の意思をうまく表現できない方が多いため、利用者の方の立場に立って考えたり、支援を行うことに気をつけています。
- ・他の職員と接する際は、わからないことは積極的に聞くことで話すきっかけになり、コミュニケーションを図ることができるので、自分から聞くように心がけています。
- ・児童の利益を第一に考えるという基本を忘れないように日々気をつけています。
- ・児童と接する際は、職員によって対応が変わることがないように、統一した支援を行うことが大切だと考えています。

**Q7 今後のキャリアプランがあれば教えていただきたいです。**

- ・今は社会福祉福祉士の資格取得を目指していて、ゆくゆくは相談支援業務の経験をしてみたいと考えています。
- ・社会福祉士の資格取得や現在の勤務が児童施設になるので、資格取得するかは別としても保育士の勉強をして、現在の業務に生かしたいと考えています。

**Q8 施設で活躍している職員に共通している特徴について教えていただきたいです。**

- ・利用者の方のお話を良く聞いたり、周りへの気配りもできて、利用者の方に寄り添っている職員だと感じます。
- ・働いている現場(周り)をよく観察できていたり、仕事の優先順位が的確で、期限内に仕事を完了するなど、基本的なことできている職員は周りからの信頼も得られていると思います。

**Q9 1年間の勤務の中で大変だったことはありますか。**

- ・利用児の方はそれぞれ通っている学校が違うので、職員間の情報共有ができていないと、準備すべきものが準備されておらず、利用児の方の生活に影響が出てしまうことがあり、大変さを感じました。そのような失敗から、対策を立てて今後の業務に生かしていくことも大切だと感じています。
- ・勤務形態によって業務内容が変わるため、業務を覚えるまで最初は大変だと感じましたが、経験を積むことで現在は慣れてきました。他には、初めての利用者の方との接し方が難しいと感じることもありましたが、コミュニケーションをとりながら接していくことで信頼関係もでき、今は楽しく接することができています。

**Q10 学生時代にしておいた方がいいこと、よかったことを教えてください。**

- ・子どもと関わるサークルでの行事の経験が、現在の日中活動の進行や企画に生かしていると思います。
- ・アルバイトを続けた経験を面接試験でアピールできたので、今まで続けてきたことをどんなことでもいいので、続けていくと良いと思います。

**Q11 現在の配属先は希望していた施設でしたか？**

- ・初めに希望していたのは児童福祉の分野で、実際配属になったのは大人の施設(障がい者支援施設)でしたが、今は知らないことが多く学びになったり、経験を積むことができる貴重な機会だと感じています。

**Q12 1年間の職務経験で成長を感じたことはありますか？**

- ・入職するまでは障がい児との関わりは初めてで、初めはトラブルや予定通りに支援が進まないことなど、たいへんだと感じて焦ることもありましたが、冷静に状況を把握して対処できてきたと感じます。
- ・最初は業務手順や利用者の方との関わり方がわからないところがありましたが、業務手順を覚えていくことで、先を見通して動くことができたり、利用者の方とのコミュニケーションや個別的な活動など、積極的に楽しく関われるようになってきたと感じています。